

発展技術③貼る（丸シール）

基礎編で学んだセロファンテープに続くシールとなる丸シールです。筑波大学附属小学校を筆頭に特定の学校で頻出の道具となります。一見シンプルに見える丸シールですが、サイズが小さく角もないので扱いづらいことが特徴です。指先を使い台紙からきれいにシールをはがすこと、はがしたシールを指に乗せて作業するなど、丸シール独特の扱い方を身に付け、繰り返し練習しましょう。また、紙同士を留めるために丸シールを使うような指示も出ます。紙が重なった位置に丸シールのセンターとなる位置をぴったり合わせて貼り付ける必要があります。丸シールはサイズが小さい分、ちょうどよい位置を見つけ、またその場所にぴったり貼るのは、お子様の小さい手で行うにはとても難易度が高いと言えるでしょう。

登場する道具



丸シール

必要となる技術

- ・ シールをはがす/つまむ指先の動き
- ・ シールを適切な場所に貼る
- ・ はがれないようにおさえる

ポイント解説 作業技術①切る、折る、貼る、つなぐ

Q1のポイント

折り紙を利用した「折り方の指示の聞き取り」は頻出の割に難易度が高いです。目で見ればあっという間にできることも、言葉だけで理解しようとするとなんとなく難しく、また「どちらの方向に」「何度折るか」という点を聞き逃してしまうと全く違うものができあがってしまいます。頭の中で想像しながら進めていく工夫が必要です。

Q2のポイント

はさみで直線を切るのは基本動作です。折り目の上を上手に切っていきたいですね。少しはみ出しても気にせず手早く進めましょう。

Q4~5のポイント

塗る、切る、貼るは「基礎編」で学んだ基本動作です。手早く進めるよう心がけましょう。

Q6のポイント

最後にお顔の貼り付けです。どうすれば円状に湾曲する輪の正面に平面上の顔を貼り付けることができるか。よく考えてみましょう。

Q3のポイント

Q3のポイントは「色が交互になるように」という指示を聞き漏らさないことです。赤と青であった場合は赤→青→赤→青と並んでいないと不正解になってしまいます。早とちりなお子様ですと「輪をつなげばいいんだな!」と指示を自己流で解釈してしまうと間違ってしまうので、最後までよく聞くように促してあげてください。

完成図イメージ



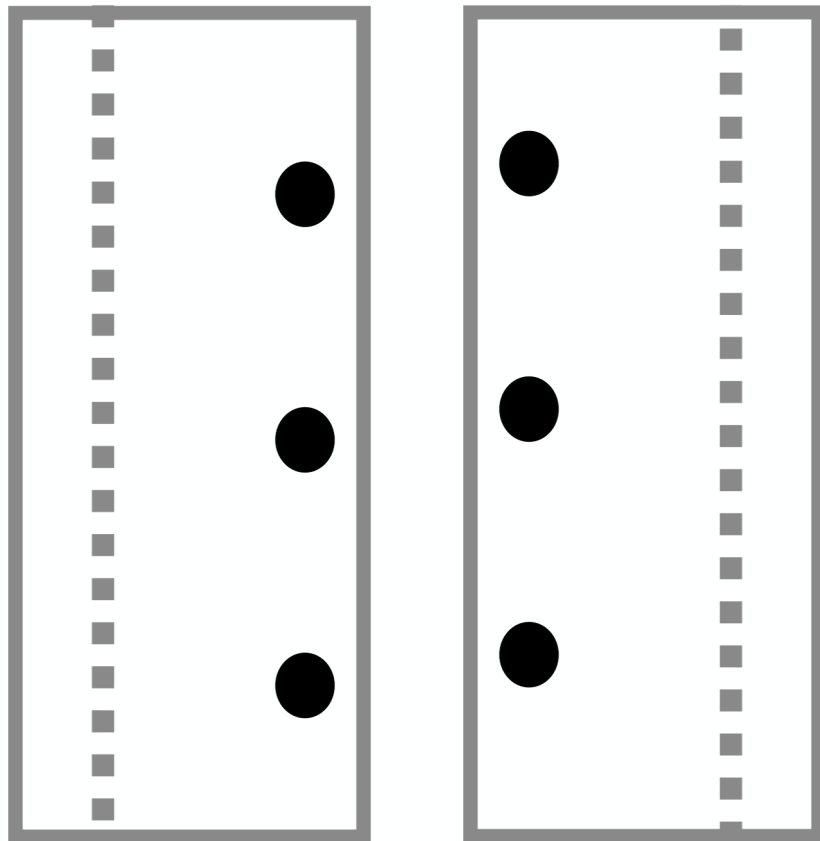
問題9

Q1.今から靴を作っていきますよ。2つの長方形それぞれにクレヨンを使って好きな色で塗りましょう。

Q2.ペーパーにプリントされた長方形を2つともはさみで切り取りましょう。長方形が切れたら、おうちの人に渡して黒い●の部分に穴をあけてもらいましょう。
(＊穴あきパンチを使い、黒い●の部分に穴をあける。)

Q3.長方形の点線を山折りにします。山折りにしたら、問題9－別紙に描かれた楕円のグレーの部分に液のりで貼り付けましょう。

Q4.最後にくつにひもを通しますよ。見本の写真を見ながら、同じようになるようにひもを通して最後にリボン結びをしてください。
どのように通せば見本と同じになるか考えてみましょうね。



見本



本課題はひも（5～60cm程度）を1本使います。ご家庭でご用意ください。また、保護者様に穴あけパンチを使って穴をあけていただく部分がございます。ご家庭でご用意ください。